



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 菱電商事株式会社  
コード番号 8084 URL <http://www.ryoden.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山下 聡

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 田中信三

TEL 03-5396-6111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	100,151	1.8	2,076	22.7	2,093	26.5	1,289	35.8
24年3月期第2四半期	98,384	0.4	1,693	△13.8	1,655	△16.6	949	△16.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,078百万円 (38.8%) 24年3月期第2四半期 776百万円 (1.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	29.70	—
24年3月期第2四半期	21.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	106,878	52,055	48.7	1,199.46
24年3月期	107,179	51,308	47.9	1,182.20

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 52,055百万円 24年3月期 51,308百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	234,000	15.4	5,120	27.9	5,100	28.0	3,100	39.9	71.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	45,649,955 株	24年3月期	45,649,955 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,250,741 株	24年3月期	2,248,918 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	43,399,790 株	24年3月期2Q	43,405,471 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
（四半期連結損益計算書）	5
（四半期連結包括利益計算書）	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州財政問題を背景に減速し、先行き不透明な状況が継続いたしました。また、わが国経済は、震災からの復興等から緩やかに回復する兆しがあったものの、円高の定着等を背景に、景気は足踏み状態となりました。

当社グループの取引に関する業界は、中国等の新興国の経済成長の鈍化や、設備投資需要の回復に遅れがあったものの、復興需要のほか、自動車関連が堅調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画の最終年度として、独自の付加価値を見出し、その役割を積極的に創造していくグローバルソリューションプロバイダーを目指し活動してまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,001億51百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益20億76百万円(前年同期比22.7%増)、経常利益20億93百万円(前年同期比26.5%増)、四半期純利益12億89百万円(前年同期比35.8%増)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりです。

## ①FA・環境システム事業

【当第2四半期連結売上高307億70百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益11億43百万円(前年同期比7.4%増)】

FAシステムでは、中国をはじめとする新興国経済の減速により、主力の半導体・液晶関連製造装置や工作機械関連の生産減少が続き、電力不足懸念や円高による海外生産移管の加速等の影響から国内の設備投資も振るわず、減収となりました。

冷熱住機では、震災により延期された案件の再開に加え、節電・省エネ対応でのリプレース需要や猛暑効果もあり、大幅な増収となりました。

ビルシステムでは、基幹商品であるエレベーターの受注獲得に努めた結果、大幅な増収となりました。

情報通信デバイスでは、パソコン・ソフトウェアのリプレース需要の獲得や製造業向けソリューションの拡販に努めましたが、主力のモニター関連の販売の減少もあり、減収となりました。

## ②半導体・デバイス事業

【当第2四半期連結売上高547億92百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益8億37百万円(前年同期比89.2%増)】

半導体・デバイス事業では、デジタル家電関連が不振だったものの、自動車関連が震災による減産の反動やエコカー補助金の政策効果により堅調に推移し、増収となりました。

海外子会社では、中国を主としたアジア地域で自動車関連やOA機器、省エネ製品向け電子部品の販売が好調に推移し、大幅な増収となりました。

## ③産業デバイス事業

【当第2四半期連結売上高145億88百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益87百万円(前年同期比50.3%減)】

産業デバイス事業では、自動車関連やデジタル家電関連の一部は、堅調に推移したものの、産業機器関連で新興国需要や国内需要の低迷が大きく影響し、減収となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、現金及び預金が 48 億 31 百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が 49 億 33 百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比 3 億 0 百万円減少し、1,068 億 78 百万円となりました。

負債の部は、短期借入金が 6 億 66 百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が 31 億 39 百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比 10 億 47 百万円減少し、548 億 22 百万円となりました。

純資産の部は、四半期包括利益 10 億 78 百万円の計上と配当金の計上 3 億 90 百万円等により、純資産合計は前連結会計年度末比 7 億 46 百万円増加し、520 億 55 百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末比 0.8 ポイント増加し、48.7%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比 48 億 31 百万円増加し、168 億 98 百万円の残高となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間において営業活動から得られた資金は、50 億 9 百万円（前年同期比 98 億 89 百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上 20 億 63 百万円、売上債権・たな卸資産・仕入債務の減少によるネット資金の増加 33 億 6 百万円、法人税等の支払 8 億 13 百万円によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、1 億 46 百万円（前年同期比 44 億 73 百万円増）となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得による支出 1 億 56 百万円によるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、1 億 33 百万円（前年同期比 8 億 77 百万円減）となりました。これは主に、短期借入金の増加 2 億 58 百万円と配当金の支払 3 億 91 百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成 24 年 5 月 15 日に公表いたしました数値から変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ・税金費用の計算

税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## ・減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第 2 四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,067	16,898
受取手形及び売掛金	60,658	55,724
有価証券	1,042	829
商品及び製品	17,646	16,842
その他	3,594	4,672
貸倒引当金	△93	△80
流動資産合計	94,915	94,886
固定資産		
有形固定資産	4,019	4,109
無形固定資産	334	348
投資その他の資産		
その他	7,977	7,587
貸倒引当金	△68	△52
投資その他の資産合計	7,909	7,534
固定資産合計	12,263	11,992
資産合計	107,179	106,878
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,209	45,070
短期借入金	973	1,639
未払法人税等	863	833
その他	2,864	4,129
流動負債合計	52,911	51,672
固定負債		
退職給付引当金	1,745	1,925
役員退職慰労引当金	209	209
その他	1,004	1,014
固定負債合計	2,959	3,150
負債合計	55,870	54,822
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,375	7,375
利益剰余金	35,187	36,145
自己株式	△813	△814
株主資本合計	52,083	53,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	212	22
為替換算調整勘定	△987	△1,008
その他の包括利益累計額合計	△774	△985
純資産合計	51,308	52,055
負債純資産合計	107,179	106,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	98,384	100,151
売上原価	89,023	89,984
売上総利益	9,361	10,166
販売費及び一般管理費	7,668	8,090
営業利益	1,693	2,076
営業外収益		
受取利息	12	16
受取配当金	31	31
持分法による投資利益	36	48
貸倒引当金戻入額	39	12
その他	43	51
営業外収益合計	162	161
営業外費用		
支払利息	30	25
売上割引	34	40
為替差損	83	35
その他	52	42
営業外費用合計	200	144
経常利益	1,655	2,093
特別損失		
投資有価証券評価損	33	30
特別損失合計	33	30
税金等調整前四半期純利益	1,622	2,063
法人税等	672	774
少数株主損益調整前四半期純利益	949	1,289
四半期純利益	949	1,289

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	949	1,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154	△189
為替換算調整勘定	△15	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△0
その他の包括利益合計	△172	△210
四半期包括利益	776	1,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	776	1,078
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,622	2,063
減価償却費	184	162
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△43	△28
受取利息及び受取配当金	△43	△48
支払利息	30	25
為替差損益 (△は益)	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	△36	△48
有価証券償還損益 (△は益)	△1	3
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	33	30
売上債権の増減額 (△は増加)	△520	5,575
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7	1,232
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,211	△3,501
その他	△677	323
小計	△3,672	5,790
利息及び配当金の受取額	49	57
利息の支払額	△30	△25
法人税等の支払額	△1,227	△813
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,880	5,009
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	130	300
有形固定資産の取得による支出	△144	△124
有形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△61	△31
投資有価証券の取得による支出	△699	△629
投資有価証券の売却による収入	119	242
短期貸付金の増減額 (△は増加)	4,997	—
その他	△17	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,326	△146
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△619	258
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△0
配当金の支払額	△389	△391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,010	△133
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	29
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,578	4,759
現金及び現金同等物の期首残高	8,971	12,067
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	52	72
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,444	16,898

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A・環境 システム	半導体・ デバイス	産業 デバイス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,547	53,095	15,741	98,384	0	98,384	-	98,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	-	2	40	87	128	△128	-
計	29,585	53,095	15,743	98,424	87	98,512	△128	98,384
セグメント利益 (営業利益)	1,065	442	175	1,683	15	1,699	△6	1,693

(注) 1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去であります。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A・環境 システム	半導体・ デバイス	産業 デバイス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,770	54,792	14,588	100,150	0	100,151	-	100,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	0	2	8	84	92	△92	-
計	30,776	54,792	14,590	100,159	84	100,243	△92	100,151
セグメント利益 (営業利益)	1,143	837	87	2,068	18	2,086	△10	2,076

(注) 1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△10百万円は、セグメント間取引消去であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

ご参考までに、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間の地域別売上高は以下の通りであります。

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

【地域別売上高】

（単位：百万円）

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(82.1%) 80,750	(10.4%) 10,209	(6.4%) 6,311	(0.6%) 575	(0.6%) 538	(17.9%) 17,634	(100%) 98,384

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

【地域別売上高】

（単位：百万円）

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(78.4%) 78,508	(11.4%) 11,383	(7.2%) 7,219	(1.1%) 1,081	(2.0%) 1,958	(21.6%) 21,643	(100%) 100,151

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。